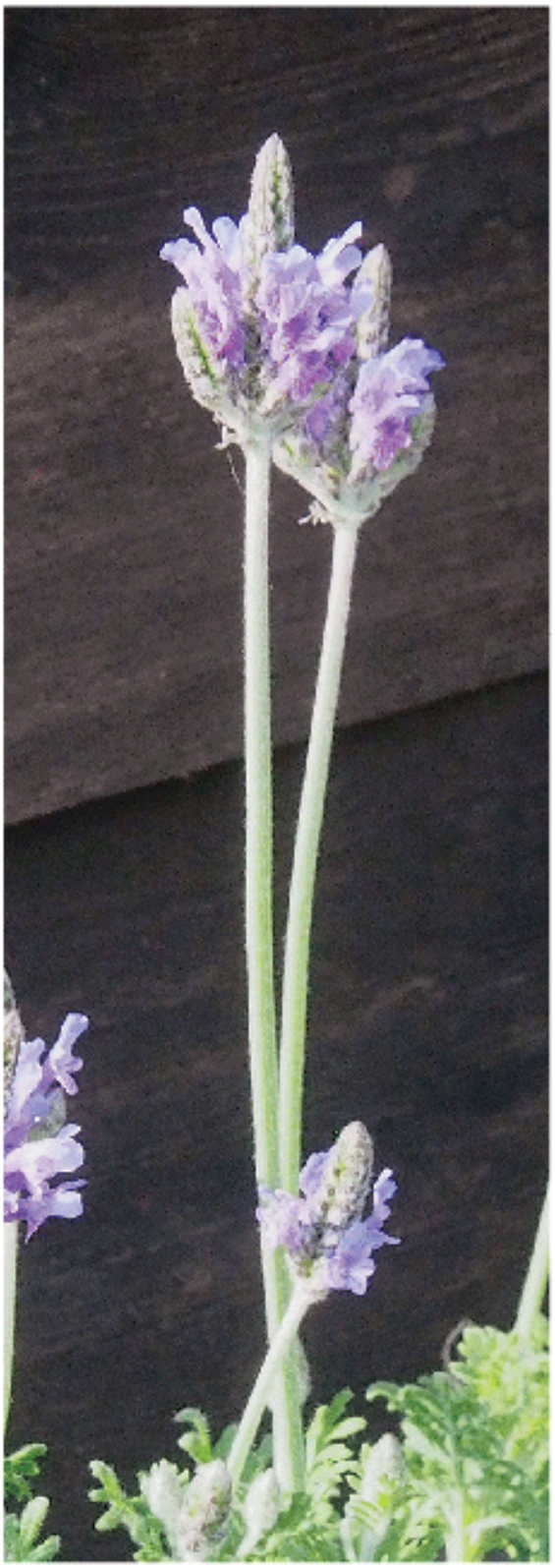
れ

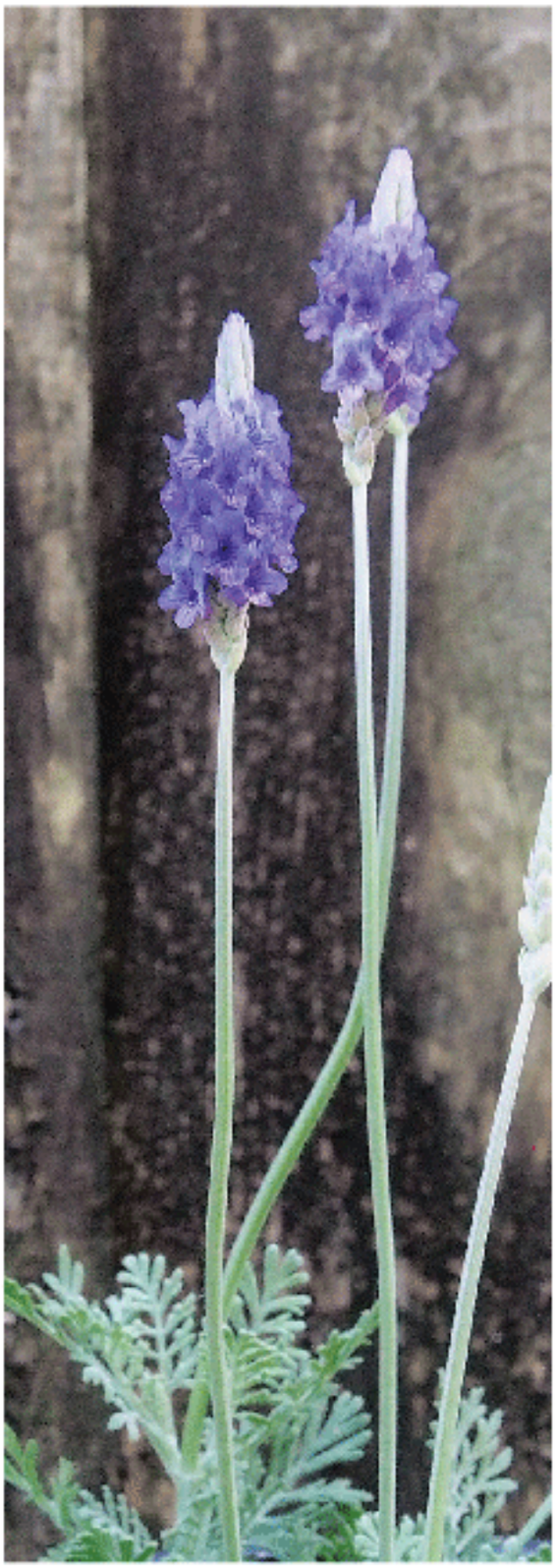
●緑色は別名

《目次》 1
レースラベンダー 2
レイジンソウ 3
レウイシア 4
レッドロビン 5
レプトテス 6
レブンアツモリソウ 7
レブンソウ 8
レモン 9
レモンゼラニウム 10
レンギョウ 11
レンゲショウマ 12
レンゲツツジ 13

【花期 4〜11月】常緑亜低木



レースラベンダー 2016.4.12妻籠宿



2016.5.5妻籠宿

レースラベンダー ——〈シソ科 ラベンダー属〉

カナリア諸島、アフリカ北部、スペイン原産。地際からよく分枝し、直立。高さ60〜90cm。葉は対生、灰緑色、羽状に深く切れ込む。花茎を長くのばし、穂状花序をつくる。花は唇形花、径3〜8mm、鮮やかな紫色、四季咲きの傾向がある。【80】【84】

■名は、葉が羽状複葉で深く切れ込みがあることから。【80】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レースラベンダー		●	●									

【花期 8〜10月】

レイジンソウ　　2004.9.8軽井沢

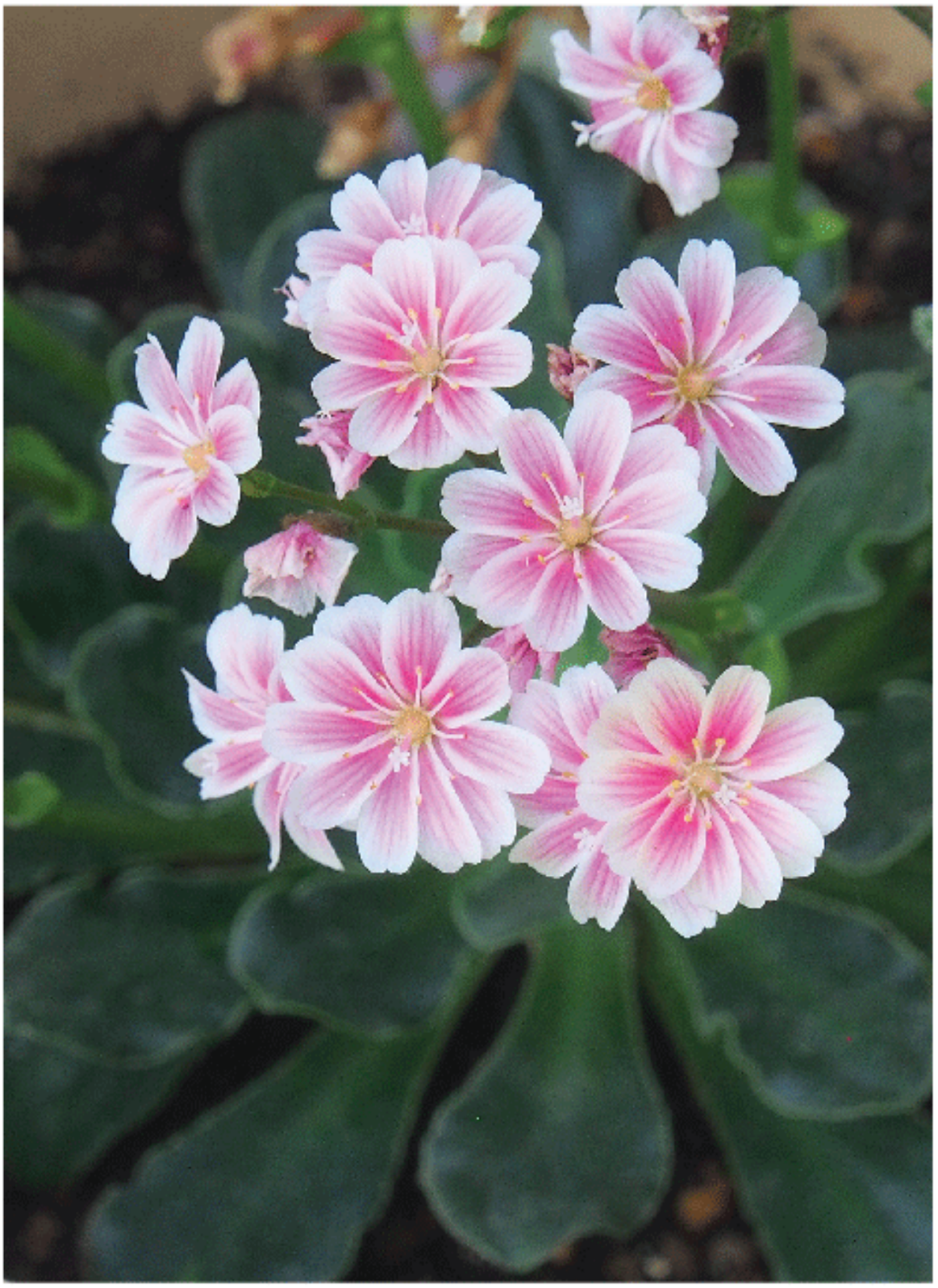
レイジンソウ 伶人草 〈キンポウゲ科トリカブト属〉

山の林の中や草原に生える多年草。高さ30〜80cm。茎は直立、角張る。花柄や萼にまっすぐな毛が生える。根生葉は長柄、葉身は腎円形、長さ5〜18cm、掌状5〜7裂、裂片はさらに浅裂、粗い鋸歯がある。下部の茎葉は5裂、上部は3裂。花は淡紅紫色、長さ約2.5cm、花柄は長さ1〜1.5cm。【3】【18】【32】【42】

■名は、花形が雅楽の伶人の使う冠に似るため。【18】
■花はトリカブトより細いが、同じく萼が異彩で、花弁はその中に隠れ、外からは見えない。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レイジンソウ							○					

【花期 4〜7月】



レウイシア　　2015.5.29別所温泉

レウイシア (英)Lewisia〈スベリヒユ科レウイシア属〉

北アメリカのロッキー山脈周辺に19種が分布。乾燥した砂礫地や岩場に生える多年草。日本には大正時代に入ってきたとされる。葉は多肉質、ロゼットを形成。花はピンクや白色、オレンジ色など。園芸品種も数多く作出されている。【58】【77】

■名は、この植物を発見した冒険家・ルイスの名前に由来。【77】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レウイシア												

【花期 5〜6月】常緑小高木

花　　2003.5.19更埴

レッドロビン　　2003.5.19更埴

レッドロビン Red Robin 〈バラ科カナメモチ属〉

カナメモチとオオカナメモチを交配して育成された品種。乾燥に強く、生け垣や路側帯などに植栽される。カナメモチに比べ葉が大きく、枝が太く粗い。下部からよく萌芽する。新葉は紅色。雌雄同株。円錐花序に白色の5弁花を密生。【37】【59】

■果実が生った状態を見たことがない。交雑により作出された種なので、不稔なのであろう。【59】
■ニュージーランドで交雑育成された。【37】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レッドロビン			○									

【花期 ――】

レプトテス　　2015.2.28フローラルガーデンおぶせ

レプトテス属 ―― 〈ラン科レプトセス属〉

ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンに数種が知られる。小形で着生する。匍匐茎は普通短い。草丈は約10cm。茎は短く、わずかに肥厚。葉は茎に1葉を頂生、円筒形、多肉質。花茎に1～数花をつける、花は草丈に比べて大きい、芳香がある。【75】【76】

■名は、ギリシア語のleptotes（か弱い、繊細）に由来し、葉に因む。【75】
■主な品種のレプトテス・ビコロルは、葉の長さ5～13cm。花茎は3～5cm。1～6花がつく。萼片と側花弁は白色、唇弁中央部は桃紫色。開花期は冬～春。【75】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レプトテス												○

【花期 5〜6月】

2019.5.18塩尻・本洗馬歴史の里資料館

レブンアツモリソウ　2019.5.18塩尻・本洗馬歴史の里資料館

レブンアツモリソウ 礼文敦盛草 〈ラン科アツモリソウ属〉

北海道礼文島特産のアツモリソウの変種。多年草。高さ15〜40cm程度。葉は3〜4個互生、長楕円形、長さ5〜15cm、先は尖る。花は茎頂に1個、白色〜クリーム色、上萼片が庇のように張り出す、側花弁は短い、唇弁は大きな袋状、長さ3.5〜5cm。【64】【78】【ウィキペディア】

■名は、袋状の唇弁をもつ花の姿を、平家物語などの軍記物語に描写された平敦盛が背負った母衣（ほろ＝後方からの矢を防ぐ武具）に見立ててつけられた。【ウィキペディア】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レブンアツモリソウ			●									

【花期 6～7月】

レブンソウ　　2006.7.6軽井沢町植物園

花　　2006.7.6軽井沢町植物園

レブンソウ　礼文草〈マメ科オヤマノエンドウ属〉

北海道の礼文島、利尻島、知床半島だけに分布。海岸沿いの乾いた草原に生える多年草。根茎は太く、木質になる、茎は地上を這う、高さ10～20cm。全体に白い軟毛。根生葉は奇数羽状複葉、小葉7～23個、長さ1～2cm、先は尖る。茎先に総状花序。紅紫色～紫色の蝶形花2～15個。【3】【38】【59】

■名は、礼文島で発見されたから。【59】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レブンソウ					●							

【花期 7～8月】常緑低木

2016.6.26奈良井宿

レモン　実　　2016.9.25奈良井宿

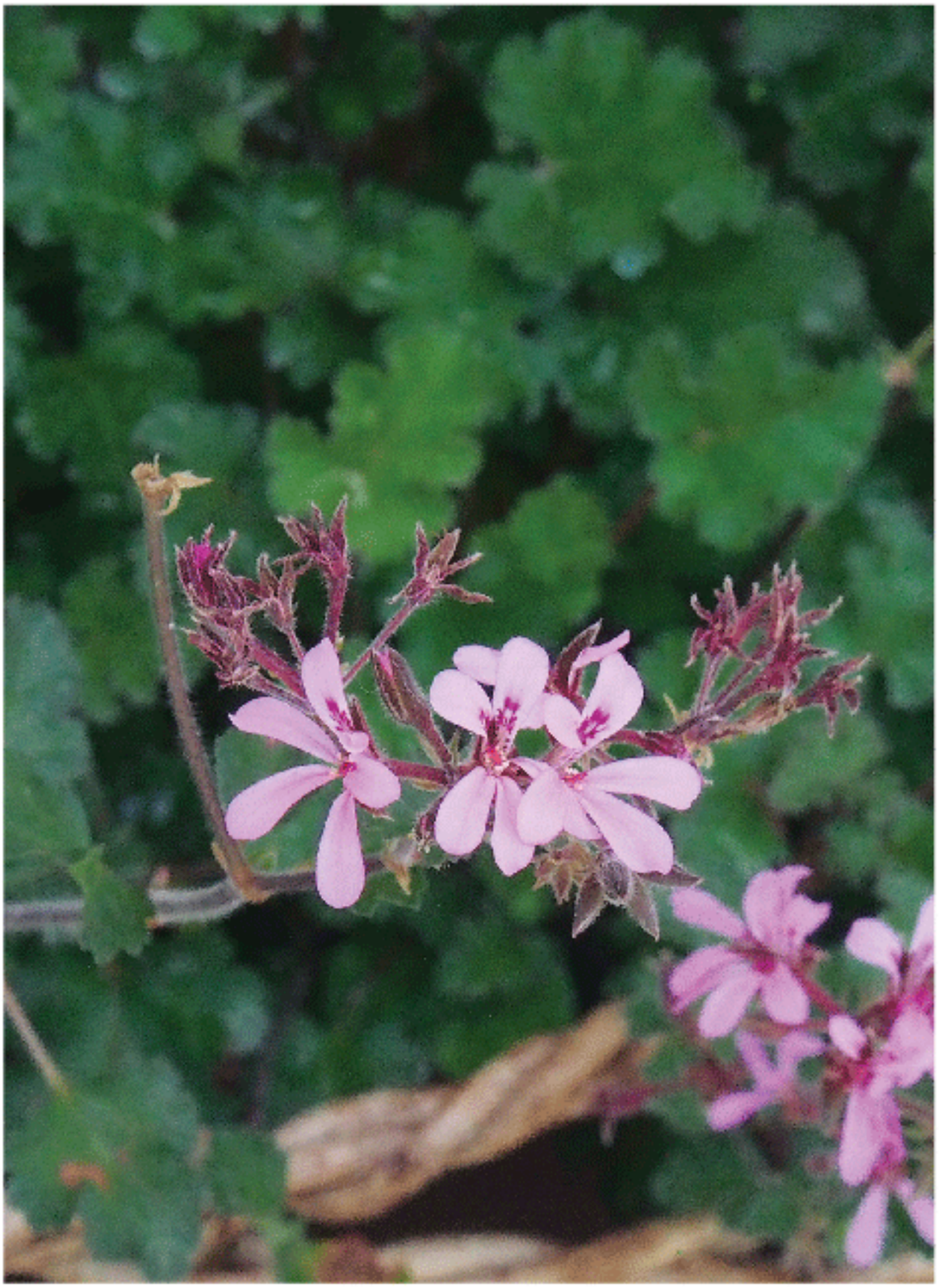
レモン 檸檬 〈ミカン科ミカン属〉

ヒマラヤ周辺が原産だといわれる。高さ2～7m。葉は互生、楕円形、長さ9～18cm、質厚、ふちに鋸歯。花は単生または数個の総状花序、芳香がある、径4cm内外、花弁4～5個、内部は白色、外側は淡い紫色、雄しべ35個内外、柱頭は扁球形、黄色。果実は液果、楕円形、縦径8cm、果皮は平滑、レモン色。【18】【37】【58】

■名は、英名Lemonより。【18】
■学名はCitras limon。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レモン												

【花期 4〜10月】常緑小低木



ローズゼラニウム　　2015.7.21小諸

センティッドゼラニウム ——〈フウロソウ科ペラルゴニウム属〉

ペラルゴニウム属の中で特に芳香を放つ種類の総称。【77】

■別名ニオイゼラニウム、ニオイテンジクアオイ。【58】【77】
■ローズゼラニウム＝バラの香りをもつ品種。菓子やジャム、アロマテラピー用のエッセンシャルオイルとしても利用される。【77】
レモンゼラニウム＝レモンのようなすっきりとした香りがする。【77】
ライムゼラニウム＝ライムのような香りがある。葉のふちに細かいトゲがある。【77】
アップルゼラニウム＝青リンゴのような香りがある。枝を横向きに這うように出す。【77】
バインゼラニウム＝葉茎に触れるとバイン（松）に似た芳香が周囲に漂う。葉は葉脈に沿って濃い茶色の斑が入る。【79】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
センティッドゼラニウム					●							

【花期 3〜4月】半蔓性落葉低木

レンギョウ 雄しべは花柱より短い【4】　2015.4.7須坂

萼片は花筒と同長【4】　2011.4.26軽井沢町植物園

レンギョウ 連翹 別名レンギョウウツギ（モクセイ科レンギョウ属）

中国原産。世界中で栽植。高さ2〜3m。幹は直立。枝は長くのび、垂れて地に着き根を出す。葉は対生、卵形か広卵形または長卵形、時に3出複葉。花は葉に先立ち、前年枝に1〜3個腋生、雌雄異株、花冠は黄色〜黄金色、直径約2.5cm、4深裂、雄しべは2個で花柱より短い、萼片は長楕円形で花筒と同長。【4】【18】【37】

■名は、花の姿を鳥の長い尾羽に例えた漢名連翹に基づく。ただし連翹はトモエソウをさし、本種は誤ってつけられた。ためにレンギョウウツギとも言う。【18】

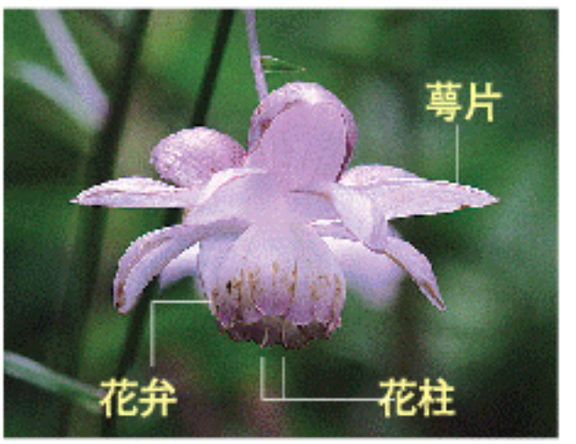
■果実は楕円形で、漢方で抗炎症、解毒、利尿薬として用いる。【5】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レンギョウ												

【花期 7～9月】

花・蕾　　2002.8.21軽井沢町植物園

レンゲショウマ　2002.8.21軽井沢



果実　　2003.10.28軽井沢

レンゲショウマ　蓮華升麻　別名クサレンゲ〈キンポウゲ科レンゲショウマ属〉

山地の樹の下などに生える多年草。茎は直立、高さ40～70cm。葉は互生、根生葉・茎葉とも有柄、大形で2～4回3出複葉、小葉は卵形、先端は鋭く尖る、ふちに大きく尖った鋸歯。茎の上部に数個下向きの花、径3～3.5cm、萼片7～10個、白色でかすかに紅紫色を帯び花弁状、花弁10個内外、萼片の1/2の長さ、暗紫色、雄しべ多数、雌しべ2～4個。果実は袋果。[3][5][7][18][32][42]

■名は、草がショウマ(升麻)、花がハスの花(蓮華)のようであるから。[18]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レンゲショウマ						○	○					

【花期 5〜6月】落葉低木

レンゲツツジと鏡池・戸隠連峰（右端は西岳）　2004.6.5戸隠

花　1999.6.6鬼無里

冬芽　2004.11.20戸隠

紅葉　2003.10.11戸隠

裂けた果実と種子　1目盛は1mm

レンゲツツジ　蓮華躑躅〈ツツジ科ツツジ属〉

山地の高原に多く見られる。牧草地に多いのは、葉に有毒成分を含み、牛が食べないため。高さ1〜2m。葉は枝先に集まり互生、倒披針形、長さ5〜12cm、基部はくさび形、全縁、表面とふちに剛毛。花は横向き、2〜8個頂生、花冠は径5〜6cm、漏斗形、5中裂、雄しべ5個、雌しべ1個。果実はさく果。【4】【18】【37】【48】【49】

■名は、多くの花が集まり咲く様子が、蓮華（ハスの花）のようだから。ツツジは筒形の花の中に《しべ》があるので、筒蕊（つつしべ）からの変化と言われる。【2】

■レンゲツツジは葉の長さ5cm以上。ヤマツツジは葉の長さ5cm以下。【2】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
レンゲツツジ			●	●	●							